

第2期
上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略
検証結果報告書

【令和4年度事業】

令和6年3月
上牧町

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

基本目標	基本的方向	施策	取組内容
1. 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	1. 地域による教育・子育て環境の充実	①子どもの学力向上支援	○ICTを活用した教育支援 ○学習支援教室（まきっ子塾）の開催
		②子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト	○学校を中心とした地域コミュニティ網の形成 ○学校支援事業の運営 ○学校・家庭・地域の連携による人権教育の推進 ○学校と連携した読書活動の推進
		③地域ぐるみの子育て支援	○情報交換拠点の整備 ○預かり保育事業の実施
		④就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実	○就学前の学習環境の充実 ○特色ある乳幼児教室の開催
		⑤多様な学びの場における支援	○通級指導教室（ペガサス教室）の充実 ○ほほ笑い教室の開催
		⑥青少年の健全な育成	○様々な専門講座の開催 ○青少年の生涯学習機会の確保と次世代の育成 ○キャリア教育及び職業教育の実施
		⑦グローバル人材の育成	○国際交流事業（世界に伍して活躍するグローバル人材の上牧町育成事業）の推進
	2. 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援	①結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援	○出会い・結婚応援事業の実施 ○プレパパママ教室の開催 ○不妊・不育症治療助成制度の周知・啓発
		②子育ての希望を叶えるための支援	○乳幼児健診受診の促進 ○子育て世代への訪問型個別支援の拡充 ○子育て支援の充実
	2. 上牧町への新しい人の流れをつくる	1. 既存ストックの利活用促進	①空き家活用プロジェクト
②UR 住宅を核とした地域の魅力向上と移住・定住促進			○UR 都市機構等関係者との協議

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

基本目標	基本的方向	施策	取組内容
2. 上牧町への新しい人の流れをつくる	2. 若年層の UIJ ターン促進と関心・認知度の向上	①公共交通の利便性の向上	○上牧町地域公共交通会議の開催 ○コミュニティバスの利用促進
		②関係人口・交流人口の創出	○観光プログラムの企画・周知・運営 ○イベント等におけるふるさと回帰・移住促進 PR 活動の実施 ○大学や企業との連携によるブランディングの推進 ○移住支援金事業 ○SNS を活用した情報発信と企画の実施
3. 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	1. 地域資源を活用した魅力創出	①公共施設の相互利用	○公共施設広域連携検討会の開催
		②地域資源の整備	○史跡上牧久渡古墳群を中心とした文化財の保存及び整備の推進 ○かんまき笹ゆり回廊を活用したにぎわい創出事業
	2. 地域住民との協働によるまちづくりの推進	①地域活動の支援・促進	○町内の優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用の促進 ○地域活動団体の設立及び活動支援 ○上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業の活用推進 ○歴史ガイドボランティアの養成
		②防災・防犯活動の支援・促進	○防災訓練の実施支援及び近隣自治体との広域連携 ○子ども防災意識の向上 ○防犯活動の支援
4. 誰もが働きやすい環境をつくる	1. 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援	①ハローワークや町内事業者と連携した就職支援	○就職準備セミナーの開催 ○町内事業者とのマッチング支援
		②子育てしながら安心して働ける環境の整備	○子育てと就労の両立の支援 ○子育てママ就業支援事業の実施
	2. 新たな雇用創出の支援・促進	①地域産業の活性化と担い手の育成	○就農支援（担い手育成）と農産物の販路確保支援 ○地域資源を活用した商品開発と販路確保支援

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	教育総務課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長している社会の実現を目指します。	
施策	① 子どもの学習向上支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① ICTを活用した教育支援

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 児童生徒の学習意欲の向上や学力の育成を図るため、情報化の進展、社会環境の変化に対応したICT環境の整備等を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 令和4年度においては、下記のとおりICT環境の整備を行いました。</p> <p>(ICT環境整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タブレット等各種ICT機器の確保 ● 貸出用モバイルルーターの確保 <p>(ICT機器の運用面での支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ICT支援員の配置 ● 県域GIGAスクール運営支援センターの整備(協議会参加) 	B	<p>【課題】 運用面(ICT機器を活用した授業展開等)においては、ICT支援員の配置を令和4年度で終了しましたので、ICT機器を活用した授業づくりの継続とICTに関する知識やスキルを身につけられる機会の確保が今後の課題となります。</p> <p>【今後の取組方針】 令和5年度も引き続き、ICT環境の整備(維持管理)に努めるとともに、ICT支援員による支援の代替として、GIGAスクール運営支援センターの活用へ移行していけるよう働きかけていきます。また、教職員の業務負担の軽減や児童生徒一人ひとりへの個別最適化した学びの提供を実現するため、奈良県が県域での導入に向けて取組を進めている「統合型校務支援システム」を導入します。</p>

成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
教員向け研修開催回数(年間)【回】	2 対前年増減→	1	-					2

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	社会教育課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長している社会の実現を目指します。	
施策	① 子どもの学習向上支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 学習支援教室（まきっ子塾）の開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 学習習慣や生活習慣を身につけるとも大切な時期でもある小学1年生から3年生を対象に、家庭学習の定着や保護者の負担軽減を目的としています。水曜日の放課後1時間程度、在籍学校の特別教室等を利用して、学習アドバイザーが宿題や自習活動の支援を行っています。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 令和4年度 参加児童・・・三校合計147名 (内訳) 上牧小学校 43名 上牧第二小学校 38名 上牧第三小学校 66名</p> <p>実施回数・・・上牧小学校 27回 上牧第二小学校 28回 上牧第三小学校 26回</p> <p>保護者と児童に対してアンケート調査を3年振りに実施し、147名中89名から回答がありました。おおむね高評価をいただきました。 保護者からは「宿題が終わって帰ってくるのは親としてありがたい」「家でもゆっくりすごせる時間が増えた」という意見がたくさんありました。家庭学習の定着を目的とした本事業の内容が、各家庭へ浸透しているものと評価できると思います。また、家庭の負担軽減にも効果があったのではないかと感じています。 さらに、一部の保護者の意見として、「子どもがまきっ子塾を楽しみにしている」、「宿題が終わってプリントを何枚やったとうれしそうに話してきます」、「自主的に勉強をするようになりました」等の声をいただきました。児童が楽しみながら学習することで、学習への意欲を高められたと考えます。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き学習アドバイザーと各小学校・担任の教員とも連携を図り「まきっ子塾」を運営していきたいと考えます。</p>

成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
「まきっ子塾」参加児童満足度【%】	-	-	70.8					80
	対前年増減→		+70.8					

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	社会教育課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指します。	
施策	② 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 学校を中心とした地域コミュニティ網の形成

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 地域と共にあるより良い学校づくりを推進するため、学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)導入に向けた検討会議を年3回程度実施するとともに、県教育委員会事務局に協力を得ながら、規則や実施要領の制定を目指していきます。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 令和4年度は研修会受講の1回のみとなりましたが、教育総務課とともに受講しました。研修の内容としては、生駒市の導入事例と学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)導入と地域学校協働活動(学校・地域パートナーシップ事業)の一体的推進のあり方と当該事業に係る理解を深めることができました。</p>	B	<p>【課題】 中学校の統合に向け、コミュニティ・スクールの効率的な導入体制を構築する必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】 コミュニティ・スクールの導入に向け社会教育課と教育総務課が共通認識のもと一体となって連携を深めていきます。</p>

成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
コミュニティ・スクール制度導入に向けた検討会議の開催数(年間)【回】	4 対前年増減→	1 -3.0	1 ±0					5

取組内容② 学校支援事業の運営

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 学校・幼稚園と連携を図り子どもたちの教育について主体となる学校教育に加え、地域全体で支援する体制づくりを進めるために学校支援のボランティア活動を行う「学校・地域パートナーシップ事業」を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 主な活動として図書支援・環境支援等を行い、小学校では登下校見守り支援も実施しました。まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止や縮小になった支援活動(授業支援・放課後支援)もありますが、コロナ禍前の活動量に戻りつつあり、教職員の負担軽減に繋がり学校教育の充実を図ることができました。 また、自治会にボランティアの登録を呼びかけ、人材確保にも努めました。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、地域の教育力の向上と地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図ることを目的に、学校支援ボランティアによる支援活動を継続していきます。 また、ボランティアの人材確保にも努めます。</p>

成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
学校支援ボランティア登録者数(年間)【人】	238 対前年増減→	217 -21.0	254 +37.0					250

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	社会教育課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。	
施策	② 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容③ 学校・家庭・地域の連携による人権教育の推進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 ヒューマンライツセミナーを開催し、人権学習の継続と発展を推進します。指導者研修会を実施し、各関係機関の代表者を中心に参加を呼びかけ、実践力を高める研修会を実施します。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 ①10月14日(金) ペガサスホールでヒューマンライツセミナーin上牧を開催しました。朗読劇「心に響く語りをめざして～いのち・あい・きずな～」と題して朗読劇団「泉座」のみなさんに公演していただきました。「朗読劇のすばらしさを初めて知った方」「感動して涙を流した方」「内容と自分自身と重ね合わせた方」「差別や人権について別の視点で考えた方」、アンケート満足度92%でした。 朗読を聞いて「物語を知る」ことだけでなく、すばらしい熱い語りによって「人権を学ぶ」「生き方を学ぶ」「感動して涙する」ところまで、響いていました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対策として大ホールで開催し、町PTA協議会の「青少年問題講演会」と共催というかたちを取り、参加者を増やしました。幼稚園や学校のPTAと共催したことで、子どもたちにまで影響される課題を提供できたこともよかったですと思います。なお、ヒューマンライツセミナーin上牧の参加者は236人でした。(令和3年度141人)</p> <p>②2月24日(金) 人権教育指導者研修会を実施しました。「地下壕が語りかけてくること」講師 田中正志さん(NPO法人屯鶴峯地下壕を考える会) 香芝市の屯鶴峯地下壕現地フィールドワークを計画しましたが、雨のために座学となりました。香芝市に現存する第一級の戦争遺跡があることや、在日朝鮮人が過酷な労働を強いられてきたことなど、改めて平和や在日朝鮮人問題について考えてほしいことを提起していただきました。参加者11名</p>	A	<p>【今後の取組方針】 ヒューマンライツセミナー・指導者研修会等を実施し、人権学習の継続と発展を推進します。 ヒューマンライツセミナーin上牧は町PTA協議会との共催の関係で、過去2年間は平日午前中に開催してきましたが、学校の教員にも参加を広げるために、水曜日の午後に設定します。新型コロナウイルス感染症対策と参加者を増やすために、今後ともペガサスホールでの開催を計画します。</p> <p>令和5年度の計画 日時 11月8日(水) 14時 場所 ペガサスホール 演題 「困った子は困っている子～奈良少年刑務所 絵本と詩の教室～」 講師 詩人・作家 寮美千子さん 上牧町人権教育研究会・上牧町PTA協議会と共催予定</p>

成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
ヒューマンライツセミナー新規受講者数(累計)【人】	-	-	89					50
	対前年増減→		+89.0					

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	文化振興課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指します。	
施策	② 子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 学校と連携した読書活動の推進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 学校と図書館が連携し、子どもが自由に本を選び、読書を楽しめる機会を創出していきます。</p> <p>【実施内容・成果(令和4年度)】 令和4年度は、図書の団体貸出、図書館訪問の受け入れ、学童保育所でのブックトーク(1つのテーマにそって数冊の本を紹介)を実施しました。 図書の団体貸出については学校の方から要望があった本を小学校3校へと貸出しました。 図書館訪問の受け入れ、学童保育所でのブックトークについては感染防止対策を行った上で実施しました。 この取組を通して、子どもと本・子どもと図書館をつなぐきっかけづくりができたと考えています。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、学校と連携した読書活動の取組を推進していきます。 小学校3校との連携を続けていくとともに、中学校への周知も行っていきたいと考えています。 また、令和4年度の学校への団体貸出状況を把握し、要望が多いと考えられるおすすめ本のリストを作成することで、団体貸出の利用へとつなげていきます。</p>

成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
図書の団体貸出を行う学校数(年間) 【校】	1 対前年増減→	2 +1.0	3 +1.0					5

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	こども未来課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長している社会の実現を目指します。	
施策	③ 地域ぐるみの子育て支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 情報交換拠点の充実

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 つどいの広場は乳幼児及び保護者が相互に交流を行う場を提供し、子育てについての相談・情報の提供・助言その他の支援を行い、子どもの健やかな育ちを推進することを目的としています。</p> <p>【実施内容・成果 (R04)】 2000年会館にて「おひさま広場」「サロンぽけっと」等、ラスパ西大和内ささゆりルームで「サロンぽけっと」等を実施しました。「おひさま広場」は子育て中の孤立感の軽減や社会参加のきっかけ作りとなる場で、誕生日会等の企画開催等や親子遊びを行い、「サロンぽけっと」はゆっくりと寛げるサロンを用意しています。親子で相互に交流を行い、子育て中の悩みや相談助言、子育て情報の交換をし孤立感や不安感を和らげました。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 社会・生活環境の変化等により子育て支援のニーズは増加傾向にありますが、おもちゃ等の見直しやスタッフと子どもの関わり方を検討していく必要があります。今後も乳幼児及び保護者が相互に交流をして、子育て中の悩みを中心に相談に対する助言や情報提供を保護者に寄り添って行います。つどいの広場事業を引き続き実施することで、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を軽減し子どもの健やかな育ちを推進していきます。</p>						
成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
情報交換拠点(つどいの広場・おひさま広場)の利用者満足度【%】	- 対前年増減→	92.7 +92.7	96.0 +3.3					80

取組内容② 預かり保育事業の実施

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 育児疲れによる保護者の心身の負担を軽減することを目的に、上牧幼稚園において預かり保育を実施しています。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を徹底して事業を実施したこと、感染症の勢いが落ち着いてきたこと等から、感染拡大前と比較すると少ない人数ではありますが、利用希望者が増加しました。</p> <p>【参考】 過去の預かり保育延べ利用者数 平成29年度 1,639人、平成30年度 2,537人、令和元年度 2,240人</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も利用希望者全員を受け入れる体制を維持します。</p>						
成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
預かり保育の延べ利用者数(年間)【人】	797 対前年増減→	888 +91.0	1,107 +219.0					1,100

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	教育総務課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指します。	
施策	④ 就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 就学前の学習環境の充実

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針					
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 生きる力の基礎となる豊かな感性・意欲・態度を養うとともに、幼児の長所や可能性を伸ばすことを目的に、就学前教育を推進していきます。また、園児(年長児)の小学校生活へのスムーズな移行を支援するため、町内小学校3校と連携を図っていきます。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 令和4年度においては、下記の取組を通じて就学前教育の充実を図りました。</p> <p>●英語教育の充実 園児の段階から英語教育や情操教育を推進するため、外国人講師を招き、英語指導をしていただきました。多くの園児が歌やダンス等、遊びを通じて英語を自然と身につけることができていました。</p> <p>●体育教育の充実 園児の基礎体力の向上を図るため、民間のスポーツ指導講師に授業を担当していただきました。運動が苦手な子どもでもわかりやすい指導で、苦手克服につながり、子どもたちの自信につながっているように思われます。また、休み時間に体育教室で習った縄跳びや鉄棒等に自分から取り組む姿も見られ、以前より体を動かすことや運動に意欲的な園児が増えてきました。</p> <p>●特別支援教育の充実 支援を必要とする園児に対し、個々のニーズに合った指導をするため、特別支援スタッフを配置し、園児の個性や主体性、協調性、社会性の育成に努めました。園内で指導方針を共有することで、子どもたちが自分でできることは見守り、困ったときにはすぐに手を差し伸べるなど、それぞれの子どもたちに寄り添った支援ができていると考えます。</p> <p>●小学校との連携 令和4年度は、幼稚園教諭が小学校3校を訪問し、校内の様子や校長先生、1年生の担任教員からのメッセージなど、撮影したものを編集し、動画にして園児に見てもらったほか、オンライン交流では、1年生の授業を一緒に受講し、合唱やクイズにも参加しました。また、お別れ遠足では学校巡りを行ったり、県からアドバイザーを派遣していただき、幼・小の接続に関する研修を行ったするなど、様々な取組の実施を通じて幼・小連携の充実を図ることができたのではないかと考えます。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、就学前の学習環境の充実に向けていきますが、情報発信をより充実させることで、保護者の理解を深めるとともに、保護者へのアンケート(幼稚園運営に関するアンケート)結果を踏まえ、ニーズに応えられるよう、新たな取組や改善について検討していきます。</p> <p>また、令和5年度においては、より小学校生活を感じ取れるよう、小学校への訪問を実施します。</p>					
<p>成果指標 (KPI) の状況</p> <p>幼稚園児と小学校児童との交流回数(年間)【回】</p>	<p>基準：R02</p> <p>-</p> <p>対前年増減→</p>	<p>R03</p> <p>-</p> <p>R04</p> <p>1</p> <p>+1.0</p>	R05	R06	R07	R08	<p>目標：R08</p> <p>3</p>

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	こども未来課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指します。	
施策	④ 就学前児童への教育・保育カリキュラムの充実	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 特色ある乳幼児教室の開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 英語知育教育や和太鼓指導等の、第1保育所ならではの特色ある乳幼児教室を開催します。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 第1保育所において、3歳から5歳児を対象とした英語知育教育を実施しました。3歳、4歳児は隔月、5歳児は毎月1回外国人講師を招き、英語の歌を歌ったりダンスを踊ったりすることにより、英語を身近に感じながらリズム感を養うことができました。 また、5歳児を対象とした和太鼓指導も、より工夫を凝らして実施しました。令和4年度は生活発表会やペガサスフェスタにおいて、人前で練習の成果を披露することができました。ペガサスフェスタでは、ペガサスホールという大きな会場でたくさんの方の前で披露し、緊張しながらも頑張る姿を見ることができました。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 定員数を超えて児童を受け入れる状況が続いており、児童数に対して和太鼓の数が足りていない状況にありますので、令和5年度において、寄附金を活用して和太鼓を追加購入する予定をしております。 英語知育教育、和太鼓指導のほか、園庭での菜園活動やミュージックケア等を実施しておりますが、子どもたちの感想や意見等に耳を傾け、よりよい事業となるよう更に充実を図ります。</p>						
成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
乳幼児教室開催数（年間）【回】	36 対前年増減→	36 ±0	36 ±0					36

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	教育総務課
基本的方向	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。	
施策	⑤ 多様な学びの場における支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 通級指導教室（ペガサス教室）の充実

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 平成25年9月に開設した通級指導教室「ペガサス教室」において、個々の教育ニーズに合った指導を行っていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 令和4年度は、上牧町と河合町で運営を行い、コミュニケーションや学習につまずきを感じている児童生徒（小学生55名（上牧町44名・河合町11名）、中学生14名（上牧町のみ））に対し、指導員が寄り添いながら必要な支援の提供を行いました。（令和5年3月31日時点）また、就学前の幼児への支援から切れ目なく特別な教育課程による指導を中学校に至るまで展開しているほか、ニーズに応じて指導員が対象児童生徒の在籍校まで赴いて指導を行う訪問型の通級指導についても継続して行いました。</p> <p>「ペガサス教室」の運営に当たっては、指導方法の創意工夫や他の教職員に対する指導助言等が奏功し、コミュニケーションや学習に課題を抱える児童生徒の成長が見られました。また、教育相談に丁寧に対応することで、保護者の不安の解消・緩和にもつながったのではないかと考えます。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も継続していきますが、指導時間や回数等の要望がありますので、ニーズに合った指導ができるように検討していくとともに、通級指導担当以外の教職員の通級指導教室に対する理解を深めていくことや小中学校の連携等に取り組みます。</p>						
成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
通級指導教員数【人】	4 対前年増減→	5 +1.0	6 +1.0					5

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	生き活き対策課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。	
施策	⑤ 多様な学びの場における支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① ほほ笑い教室の開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的)】 保育園や幼稚園で集団活動が苦手な幼児に対して、個々の成長に合わせ、心身の発達や社会性を促す療育プログラムを実施し、保護者の子育て支援も行います。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 ほほ笑い教室参加者の保護者を対象に療育支援教室の評価とアンケートを実施しました。利用者満足度を7項目に渡り5段階評価にて行い、利用されている幼児と保護者の充実感がうかがえました。参加人数は6名でした。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も個々の成長に合わせ、心身の発達や社会性を促す療育プログラムを実施し、保護者の子育て支援も行います。支援が必要な幼児が少しでも早期に通級等の支援に至るよう引き続き親子へのきめ細やかな相談を行います。参加者が例年に比べて少なかったため、教室について周知方法を検討します。</p>

成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
ほほ笑い教室利用者満足度【5段階評価】	4.7	4.6	4.8					4以上
	対前年増減→	-0.1	+0.2					

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	社会教育課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長している社会の実現を目指します。	
施策	⑥ 青少年の健全な育成	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 様々な専門講座の開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 青少年の健全な育成を目的に、子ども体験学習事業として、青少年に様々な活動や体験学習を実施しました。</p> <p>【実施内容・成果 (R04)】 実施内容については、理科の実験・工作教室 (3回) 木工教室 (1回) 茶道体験教室 (2回) を実施しました。 体験事業をバカサスフェスタやさくら祭りで実施することにより、多くの子どもたちや保護者に積極的に参加いただけられました。 また、講座の申込方法をホームページでの申込を可能にし、先着順ではなく抽選する方法を確立しました。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 理科好きの子どもを育成を目的として引き続き理科の実験・工作教室を主として実施していきます。 また、普段、学校の授業では体験できないような個々の能力を伸ばす専門的な体験講座の開催が求められているため、アンケート結果等を踏まえ、積極的な講師陣の確保に努めていきたいと考えます。</p>						
成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
専門講座開催回数【回】	6 対前年増減→	3 -3.0	6 +3.0					6

取組内容② 青少年の生涯学習機会の確保と次世代の育成

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 青少年の健全な育成を目的に実施します。元々は、地域の子ども会で高学年の児童にグループを指導する力を身につけてほしいというリーダー養成を目的に、約30年前に始まりました。</p> <p>【実施内容・成果 (R04)】 令和4年度は、野外活動3回 (フィールドアスレチック・川魚つかみ取り体験・雪中登山) と工作等の研修6回を実施しました。また、上牧町シルバークラブ連合会にしめ縄作りを教えていただき、地域の方と交流しながら郷土学習ができました。その他、令和3年度に引き続き救急講習を行い、事故等が起きた際に役立つ研修も実施しました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、年間計画で予定していた宿泊研修は令和3年度と同様に日帰り研修に変更して実施しました。</p>	B	<p>【課題】 小学校5年生を対象に新規募集を行います。小学校卒業と同時に辞めてしまう子どもが多数います。子ども会が縮小された現在、地域のリーダーの養成という観点からは、工夫をして参加者を確保していくことが必要であると考えます。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、野外活動を行い、事故や災害が起きた際に備える救急講習を実施する予定です。また、参加者募集時の案内チラシの工夫や募集対象の小学5年生以外の学年 (小学6年生) から募集し参加者の確保に努めます。</p>						
成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
ジュニアリーダー研修新規登録者数 (年間) 【人】	- 対前年増減→	16 +16.0	7 -9.0					10

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	教育総務課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。	
施策	⑥ 青少年の健全な育成	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① キャリア教育及び職業教育の実施

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 上牧町に対する愛着や誇りを育むとともに、働くことの意義や目的の理解、働く意欲や態度を学ぶことを目的に、毎年中学2年生を対象に職業体験を実施していきます。</p> <p>【実施内容・成果 (R04)】 令和4年度においては、下記のとおり職業体験等を行いました。</p> <p>【上牧中学校】 旅行事業者や音楽関係の事業者、服飾専門学校など、7つの業種の職業人を講師として招き、職業体験を実施しました。(生徒109人参加) 今回は、生徒がそれぞれの職業ごとに設置したブースを巡る形式で行われましたが、講演や実習などへの参加を通じて、様々な体験をすることができ、就労に関する理解と意欲の向上につなげることができたと考えます。</p> <p>【上牧第二中学校】 美容関係事業者や製図事業者、工場板金事業者、医療関係事業者の4つの業種の職業人を講師として招き、職業体験を実施しました。(生徒52人参加) 上牧第二中学校では、その他にも仕事調べの課題や保護者など身近な職業人へのインタビュー、芸術家・生命保険会社の講話、TK式進路コンパスなど、キャリア教育として様々な取組を実施しました。 職業体験については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で3年ぶりの実施となりましたが、プロの職人のかたによる仕事の紹介や技能の披露、実習を通じて、現場で働く人たちの思いや仕事のやりがい、厳しさを知る機会となり、参加した生徒の職業観の形成に役立ったと考えます。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、職業体験を実施しますが、学習内容をより充実・発展させるため、新たな講師や職業体験先を探していきたいと考えます。</p>						
成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
県内企業や地域との交流活動回数(年間)【回】	2 対前年増減→	2 ±0	2 ±0					3

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-1 地域による教育・子育て環境の充実	教育総務課
	地域と行政の協働や住民同士の助け合いによる教育・子育て体制を整え、子どもたちの「豊かな心」と「自ら学ぶ力」、「健やかな体」を育てることで、確かな学力とシビックプライド、グローバルな視点を持った人材の育成を推進します。あわせて、子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培ううえで重要となる乳幼児期の教育・保育の質の向上に努めるとともに、子どもたちの学び、育ちの特性を踏まえた多様な学びの場における支援の充実を図ることにより、すべての子どもたちがそれぞれの夢と希望を持って成長していきける社会の実現を目指します。	
施策	⑦ グローバル人材の育成	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容①

国際交流事業（世界に伍して活躍するグローバル人材の上牧町育成事業）の推進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 学校教育事業の一環として、中学生の外国語に対する興味・意欲・関心をさらに深め、他国の中学生との交流を通じて異文化に触れることにより、相互理解の推進、国際感覚豊かな人材の育成を目的として、国際交流事業を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 台湾・桃園市立の中学校と上牧町立中学校が学校間交流を行う予定でしたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施することができませんでした。</p>	B	<p>【今後の取組方針】 令和5年度は、台湾・桃園市立の中学校の生徒の訪問団を受け入れ、上牧町の家庭でホームステイを実施します。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
国際交流事業実施回数（累計）【回】	-	-	-					5
	対前年増減→							

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援	こども未来課
	近年、急速な進行がみられる未婚化、晩婚化は少子化の要因のひとつとされています。人口減少による地域の衰退を回避するため、若い世代の出会いから結婚、出産に関する希望を叶えるとともに、安心して産み育てることができるよう、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てまで、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援を推進します。	
施策	① 結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 出会い・結婚応援事業の実施

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 上牧町で結婚を希望される独身のかたを対象に出会いの場や情報を提供します。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 ①婚活イベントの開催(2回開催、参加者男女各10名) 結婚を希望する男女に出会いの場として参加体験型の婚活イベントを開催しました。イベント参加者にはフォローアップを行い、カップル成立の有無は関係なく希望者に対し、サポーターが相談に乗り、希望者には結婚希望登録制度への登録を勧め、継続した支援を行いました。 ②個別相談会の開催(12回、定員各4組) 結婚を希望する男女及びその親族に対して個別の相談会を毎月1回開催しました。 これらのサポーターの活動により、令和4年度は2組が成婚となりました。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、非営利活動法人かんまきマリッジサポート赤い糸として活動するマリッジサポーターとともに、結婚を希望する男女に対してそれぞれにあった結婚に繋げる支援を進めていきます。</p>						
成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
出会い結婚応援事業による成婚者数(累計)【組】	4 対前年増減→	5 +1.0	7 +2.0					15

取組内容② プレパパママ教室の開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 妊娠届出時にプレパパママ教室への参加の勧奨を行います。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 ・プレパパママ教室(月1回開催、年12回) 〈参加者〉 令和4年度実績は、実人数43名(妊婦26名、夫17名) 延べ人数64名(妊婦42名、夫22名) 経年実績：35名(H29)、50名(H30)、47名(R元)、77名(R2)、72名(R3)、64名(R4)</p> <p>教室参加割合は、28.0%で、目標に達しませんでした。新型コロナウイルスの感染防止のため、参加されないかたや経産婦のかたがいたためと考えます。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も継続してアンケートを実施し、プレパパママ教室の満足度やニーズを把握したり、視覚教材等の媒体を使用することで、より満足度の高い教室を目指していきたいと思います。 令和4年度までは、新型コロナウイルスの影響で参加者同士の交流ができませんでした。感染対策を講じながら参加者同士の交流を図っていきます。 プレパパママ教室を月1回開催します。 (A日程：妊婦体験や沐浴体験、家事育児の見える化ワーク等) (B日程：分娩の話、栄養士のお話等) (C日程：産後の話、育児体験、母乳育児等)</p>						
成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
プレパパママ教室参加割合【%】	31.5 対前年増減→	21.1 -10.4	28.0 +6.9					30.0

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援	生き活き対策課
	近年、急速な進行がみられる未婚化、晩婚化は少子化の要因のひとつとされています。人口減少による地域の衰退を回避するため、若い世代の出会いから結婚、出産に関する希望を叶えるとともに、安心して産み育てることができるよう、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てまで、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援を推進します。	
施策	① 結婚・妊娠・出産の希望を叶えるための支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 不妊・不育症治療助成制度の周知・啓発

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 不妊治療又は不育治療を受けている夫婦に対して、経済的及び精神的負担の軽減を図り、少子化対策の推進に寄与することを目的としています。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 妊娠届出時に認知度アンケートを実施し、知っていると回答した人108名中47名で43.5%でした。令和3年度、4年度から減少しています。 令和4年度から、一般不妊治療が保険適用となりましたが、不妊治療費助成申請件数は14件、不育治療費助成申請件数は1件であり、令和2年度・令和3年度とほぼ同様の人数でした。一般不妊治療費助成金交付申請の金額は70,000円の満額申請しているかたが14人中3人いました。 9月と3月に広報へ記事を掲載し周知を図りました。また、個別に周知できるように近隣の産婦人科でのチラシ、ポスター掲示をしました。今年度からは、就学前までの子どもがいる転入者へ配布している資料に、一般不妊・不育症治療助成事業のチラシを同封して周知を図りました。 平成28年度に助成を開始してから、不妊治療費助成申請者から24人、不育症治療費助成申請者から4人の出生がありました。また、令和4年度に不妊・不育治療助成申請者14人のうち6人が妊娠されました。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 申請状況は前年とほぼ同様のため、令和5年度も同様の補助金額で実施します。今後も申請状況の変化に応じて、事業内容について検討していきます。また、令和5年度から5年の助成期間の撤廃及び一般不妊治療に加え、特定不妊治療費の助成も上牧町で実施するため申請者数が増加することが考えられます。周知する際に、変更点について、SNSや母子手帳アプリ、広報等でも広く周知します。 今後も広報、ホームページ、健診の場等で啓発するほか、個別に周知できるように近隣の産婦人科でのチラシ、ポスター掲示を継続します。また、就学前までの子どもがいる転入者へ配布している資料に、一般不妊・不育症治療助成事業のチラシの同封を継続します。 令和5年度も妊娠届出時のアンケートを継続して実施します。妊娠届出時のアンケートでは新規のかたがほとんどのため、継続して評価ができるように3歳児健康診査時にもアンケートを拡大して実施します。</p>

成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
不妊・不育症治療助成事業認知度（よく知っている、名前だけ知っている人の割合）【%】	53.6 対前年増減→	50.4	43.5					100

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援	生き活き対策課
	近年、急速な進行がみられる未婚化、晩婚化は少子化の要因のひとつとされています。人口減少による地域の衰退を回避するため、若い世代の出会いから結婚、出産に関する希望を叶えるとともに、安心して産み育てることができるよう、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てまで、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援を推進します。	
施策	② 子育ての希望を叶えるための支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 乳幼児健診受診の促進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的)】 乳幼児期における身体発育及び精神発達の健全な育成のため、健康診査を実施し、異常の早期発見・予防をします。</p> <p>【実施内容・成果 (R04)】 乳幼児健康診査については、医師会や歯科医師会等へ事前に相談し、新型コロナウイルス感染拡大予防対策の計画を立てたうえで実施しました。新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、少人数での案内時間の設定により検診当日の滞在時間の短縮、接種会場内の消毒換気の徹底、入場人数の制限、会場内での一方向の通路設定などを行いました。</p> <p>以前から新型コロナウイルス感染拡大予防対策を徹底し、ホームページや広報等で感染対策の実施内容を周知したことで、保護者の受診への安心感につながったと考えられます。その結果、新型コロナウイルス感染症を理由に受診を控えるかたが減少し、乳幼児健康診査の受診率が向上しました。また、健診の実施回数についても感染状況を考慮しながら予定通りの回数（3・10か月児健診：10回、1歳8か月児健診：5回、2歳児歯科検診：4回、3歳児健診：6回）を、安全に滞りなく実施できました。諸事情により未受診となったかたについては、訪問等により現認しています。</p> <p>2歳児歯科検診においては、歯科医師会や歯科衛生士と協議し、感染状況を踏まえたうえでフッ素塗布を実施することができました。しかし、歯垢染色とブラッシング指導については飛沫による感染リスクが高いと考え、中止しました。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 医師会や歯科医師会と連携を図りながら円滑に乳幼児健康診査を実施していきます。</p> <p>令和5年度より乳幼児健康診査の回数を増やし（3・10か月健診：12回、1歳8か月児健診：6回、2歳児歯科検診：4回、3歳児健診：6回）実施することで、諸事情により受診できないかたが受診できる機会を設けます。</p> <p>2歳児歯科検診については、ブラッシング指導を実施し、歯垢染色の実施については、飛沫感染リスクが伴うため、感染状況に応じて歯科医師会と協議をしていきます。</p>

成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
乳児健診受診率【%】	95.5	92.9	98.0					100
	対前年増減→	-2.6	+5.1					
幼児健診受診率【%】	89.7	87.9	93.8					100
	対前年増減→	-1.8	+5.9					

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 1

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	1 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える	担当課
基本的方向	1-2 結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援	こども未来課
	近年、急速な進行がみられる未婚化、晩婚化は少子化の要因のひとつとされています。人口減少による地域の衰退を回避するため、若い世代の出会いから結婚、出産に関する希望を叶えるとともに、安心して産み育てることができるよう、出会い、結婚、妊娠、出産、子育てまで、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援を推進します。	
施策	② 子育ての希望を叶えるための支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 子育て世代への訪問型個別支援の拡充

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針							
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 赤ちゃん訪問時や上牧町ホームページ、チラシ等により母子手帳アプリの紹介を行い、登録者の増加に努めます。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 アプリの随時配信数を定期的に行うことにより、既登録者数が減少しないように取り組みました。 ①随時配信として、上牧町内の子育て情報、奈良県の取組み(給付金や子育てクーポン)、児童虐待啓発、医療や健康に関することなど、令和4年度は合計23回の配信を行いました。 ②定期配信として、妊娠届、予防接種、定期検診、各手当等、48項目の情報の配信を行い、アプリ登録者が子育てに必要な情報を事前に知り、予定を立てて子育てができるよう支援を行いました。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き随時配信や定期配信を行い、子育てに関する情報や上牧町の子育てに関する取組み、検診等の案内を行い、アプリを介して子育て支援を進めていきます。 課題として、現使用アプリ(母子手帳アプリ)が令和5年7月末に取り扱いが終了となり、新アプリへの移行となるため、既存登録者への案内や新規利用者の獲得をしていく必要があります。</p>							
成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08	
赤ちゃん訪問実施率【%】	98.0 対前年増減→	94.3 -3.7	95.3 +1.0					100	

取組内容② 子育て支援の充実

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針							
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 子育て中の保護者と子どもを対象とした子育てを応援するため、子育て支援セミナーを行いました。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 乳幼児の健康や育児等について生き活き対策課と連携し、子育て支援の充実を図りました。新型コロナウイルス感染拡大予防のため集客しての開催を自粛していましたが、令和4年度は人数制限を設け、感染予防に徹底しながらバガサフェスタにおいて開催しました。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 子育て中の保護者の子育てを応援するために、保健師・助産師・管理栄養士等による子育て支援セミナーを今後も開催していきます。健康や育児等に親子で楽しめる内容を検討し、親子で充実した時間を過ごせるようなセミナーを開催します。</p>							
成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08	
子育て支援セミナー参加延べ人数(年間)【人】	- 対前年増減→	-	18 +18.0					40	

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.2

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる	担当課
	2-1 既存ストックの利活用促進	まちづくり推進課
基本的方向	町内の既存住宅を地域の実情に即した活用により魅力ある環境づくりや住宅（多様な住まい、住まい方）供給を推進するとともに、生活利便性の向上に取り組み、若者に選ばれ、いつまでも住み続けられる住環境を整備します。	
施策	① 空き家活用プロジェクト	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容①

空き家利活用の推進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 増加傾向にある空き家の流通促進や地域資源としての利活用に取り組みます。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 空き家・空き地バンクへの物件の登録について、空き家所有者等からの新規相談が5件あり、所有者立会いの下の現地調査は3件行いましたが、上牧町空き家バンク登録には至りませんでした。 空き家・空き地バンクの物件の利用登録について、新規相談が12件、利用登録が7件ありました。 また、過年度より空き家バンクに登録のあった4件の物件については、内2件が空き家バンクを介さない経路での売買・譲渡等により、その他の2件が登録年限の超過により登録が解除されました。</p>	<p>B</p>	<p>【課題】 空き家の利活用を進めて行く上で、空き家・空き地バンクへの物件の登録件数を増やす必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】 上牧町空き家・空き地バンク及び空き家コンシェルジュの情報提供を空き家所有者に対して行い、利活用を検討している空き家のバンク登録を促します。 空き家・空き地バンクの制度についてSNS・ホームページ等利用者に合った媒体を用い、よりわかりやすい周知を徹底します。</p>						
成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
空き家・空き地バンク登録件数（累計）【件】	4 対前年増減→	4 ±0	- -4.0					15

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.2

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる	担当課
基本的方向	2-1 既存ストックの利活用促進	企画財政課
	町内の既存住宅を地域の实情に即した活用により魅力ある環境づくりや住宅（多様な住まい、住まい方）供給を推進するとともに、生活利便性の向上に取り組み、若者に選ばれ、いつまでも住み続けられる住環境を整備します。	
施策	② UR住宅を核とした地域の魅力向上と移住・定住促進	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① UR都市機構等関係者との協議

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 入居者の減少や高齢化が進んでいるUR団地及び周辺地区の魅力向上と活性化を図るため、今後のまちづくりについて、関係者と協議を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 西大和片岡台団地において、高齢者の見守り・生活相談・交流促進を行うとともに、日頃から高齢者と地域関係者をつなぐ役割を担う生活支援アドバイザーが令和3年度より新規配置されたことに伴い、活動状況の報告をいただきました。また、都市計画についての内容等、近隣のURの動向など、情報交換を行いました。</p> <p>【生活支援アドバイザーの活動】 終活セミナー&フラワーアレンジメント、呼動バランス操体、ハッピーメイクアップ、誤嚥予防健康講座、生活不活発病講座&健康体操</p>	B	<p>【課題】 生活支援アドバイザーの設置等、高齢者向けの施策については、一定程度進んでいますが、若者世帯向けの施策についての取組が必要です。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き、UR都市機構と連携し、若者の移住・定住促進につながる取組として、リノベーションやDIYに対する支援制度や若者に好まれる環境整備等、UR西大和片岡台の整備方針を踏まえて、UR都市機構と相談しながら啓発活動やリノベーションに関する要望等を行います。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
UR都市機構等関係者とのまちづくりに関する意見交換回数（年間）【回】	3	5	3					4
	対前年増減→	+2.0	-2.0					

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.2

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる	担当課
基本的方向	2-2 若年層のUIJターン促進と関心・認知度の向上	まちづくり推進課
	少子高齢化の進行が加速する中、担い手不足による地域経済の衰退やコミュニティの場の消失が危惧されています。将来にわたる持続可能なまちづくりを見すえ、交通アクセスの改善等、上牧町の魅力・利便性向上に取り組むとともに、都市圏で高まりつつある地方移住の気運を取り込むため、SNSを積極的に活用し、上牧町への関心を高める企画や認知度の向上を図るプロモーション、イベント等の実施を通じて、担い手の確保に努めます。	
施策	① 公共交通の利便性向上	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 上牧町地域公共交通会議の開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
【取組の概要（背景・目的等）】 持続可能な地域公共交通の形成に資する地域公共交通の活性化に取り組めます。	C	【課題】 鉄道駅のない上牧町にとって、公共交通の利便性の向上や町民の移動手段に関するニーズを把握する必要があります。
【実施内容・成果（R04）】 上牧町の内部検討会である上牧町交通網対策検討会議を開催するにあたり、課題を整理し十分な議題を準備することができなかつたため、実施できませんでした。		【今後の取組方針】 公共交通の協議の場である上牧町地域公共交通会議の開催を目指して、他市町村の先進事例を収集し、会議設置規則の制定に向けて準備を行います。公共交通の利便性の向上や町民の移動手段に関するニーズに応えるためにどのような対策を講じるべきかについて、庁内の公共交通関係部局とともに課題の洗い出しを行い、検討を行う内部検討会を実施していきます。

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
上牧町地域公共交通会議開催数（年間）【回】	- 対前年増減→	-	-					2

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.2

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる	担当課
基本的方向	2-2 若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上	総務課
	少子高齢化の進行が加速する中、担い手不足による地域経済の衰退やコミュニティの場の消失が危惧されています。将来にわたる持続可能なまちづくりを見すえ、交通アクセスの改善等、上牧町の魅力・利便性向上に取り組むとともに、都市圏で高まりつつある地方移住の気運を取り込むため、SNSを積極的に活用し、上牧町への関心を高める企画や認知度の向上を図るプロモーション、イベント等の実施を通じて、担い手の確保に努めます。	
施策	① 公共交通の利便性向上	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① コミュニティバスの利用促進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 コミュニティバスの存在の周知及び利便性の向上を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 コミュニティバスの運転に対する苦情が寄せられていることや、運転者の高齢化により運転技術に支障が生じ始めていたことを受け、令和5年度より、民間企業に一部運転業務を委託することとなりました。民間のノウハウや技術を取り入れることにより、更なるサービス向上を図ります。また、ホームページ上や総務課窓口等でコミュニティバス時刻表を公表及び配付し周知を行うことにより利用を促進しています。</p>	B	<p>【課題】 住民の方から昼休憩中の時間も運行してほしいという声や町外へも走らせてほしいという声をいただいております。</p> <p>【今後の取組方針】 今後、服部台明星線の開通に伴い、バス停増設、昼間ダイヤの改正を行う予定です。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
コミュニティバス延べ利用者数（年間）【人】	42,699 対前年増減→	54,747 +12,048	66,141 +11,394					60,000

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.2

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる	担当課
基本的方向	2-2 若年層のUIJターン促進と関心・認知度の向上	まちづくり推進課
	少子高齢化の進行が加速する中、担い手不足による地域経済の衰退やコミュニティの場の消失が危惧されています。将来にわたる持続可能なまちづくりを見すえ、交通アクセスの改善等、上牧町の魅力・利便性向上に取り組むとともに、都市圏で高まりつつある地方移住の気運を取り込むため、SNSを積極的に活用し、上牧町への関心を高める企画や認知度の向上を図るプロモーション、イベント等の実施を通じて、担い手の確保に努めます。	
施策	② 関係人口・交流人口の創出	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 観光プログラムの企画・周知・運営

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
【取組の概要（背景・目的等）】 自然環境・文化資源の保全や魅力の発信、新たな観光プログラムの企画・周知・運営に取り組みます。 【実施内容・成果（R04）】 観光プログラムの企画・周知・運営について、観光案内所3か所（橿原市2か所、桜井市1か所）、天理市の道の駅及び斑鳩町のホテルに本町のパンフレットを設置させてもらい周知に努めました。また、馬見チューリップフェア、ウォーキングイベント、おもしろ歴史フェスティバル及び大立山まつりに参加しパンフレット等を配り周知に努めました。	B	【課題】 観光プログラムの企画・周知・運営するため、関係各課と協議する必要があります。 【今後の取組方針】 イベント等に参加し周知活動を引き続き行っていくとともに、笹ゆり回廊の整備完了に合わせて、上牧町魅力発信ツアー等のイベントを打ち出し、上牧町の歴史・文化・自然の魅力を感じられる事業を展開していきます。

成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
観光イベントの実施・参加回数（年間）【回】	-	3	4					2
	対前年増減→	+3.0	+1.0					

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.2

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる	担当課
基本的方向	2-2 若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上	企画財政課
	少子高齢化の進行が加速する中、担い手不足による地域経済の衰退やコミュニティの場の消失が危惧されています。将来にわたる持続可能なまちづくりを見すえ、交通アクセスの改善等、上牧町の魅力・利便性向上に取り組むとともに、都市圏で高まりつつある地方移住の気運を取り込むため、SNSを積極的に活用し、上牧町への関心を高める企画や認知度の向上を図るプロモーション、イベント等の実施を通じて、担い手の確保に努めます。	
施策	② 関係人口・交流人口の創出	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① イベント等におけるふるさと回帰・移住促進PR活動の実施

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 上牧町への関心を高める取組や認知度を向上させる取組を通じて、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出につなげていきます。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 地域イベントとして「ペガサスフェスタ」を開催しました。町制施行50周年記念企画(菊人形展、二胡の演奏等)を交えて実施したこともあり、来場者数は約5,000人(前回比+1,500人)という結果になりました。 また、北葛城郡4町が連携して実施する「すむ・奈良・ほっかつ!事業」において、移住定住を目的としたプロモーション活動(HPを活用した情報発信)を実施するとともに、北葛城郡に訪れてもらうための新たな取組として、古墳や文化財を活用した「御墳印帖プロジェクト」について、開始に向けた検討を行いました。(令和5年4月開始) その他、町制施行50周年記念事業として、新たに「さくら祭り」や「メタセコイアのライトアップ」、「片岡城復刻ARの制作」、「PRキャラクターの制作」を実施しました。上牧町を「知ってもらおう・訪れてもらう」ための取組を推進したことで、上牧町への関心を高めるきっかけづくりができたと考えます。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、「ペガサスフェスタ」や「すむ・奈良・ほっかつ!事業」の取組を推進していきます。 また、町制施行50周年記念事業として実施した新たな取組についても、継続的に実施していくとともに、制作物の活用促進を図っていくことで、ふるさと意識の高揚や関係人口・交流人口の創出、認知度の向上につなげていきます。</p>						
成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
プロモーション活動・媒体の認知度【%】	50.6 対前年増減→	38 -12.4	40 +2.2					60

取組内容② 大学や企業との連携によるブランディングの推進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 コンパクトで生活利便性に優れ、自然に囲まれた上牧町の特徴をPRし、より一層ブランディングを推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 ふるさと納税の返礼品の取扱いを新たに開始したことに加え、特産品の開発・改良に対する補助金制度(特産品開発支援補助金)を創設しました。返礼品については、協力事業者として、14事業者の登録があり、返礼品として60品目の登録がありました。 特産品開発支援補助金については、2件の申請があり、ふるさと納税の返礼品となる商品の開発・改良が行われました。 事業者紹介サイトについては、1件の新規登録があり、合計29事業者になりました。 その他、ふるさと納税広告に上牧町の返礼品が掲載されたことにより、上牧町の事業者を通じた上牧町のブランディングが推進できていると考えます。また、企業版ふるさと納税に関しては奈良県と共同で運営する協議会で作成したパンフレットを用いて、上牧町の企業版ふるさと納税についてアピールを行いました。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、ふるさと納税を通じた上牧町のPR・ブランディングを進めていきます。 また、事業者紹介サイトの運営も引き続き行い、掲載事業者を増やす取組を検討し、進めていきたいと考えています。 その他、企業版ふるさと納税を通じて企業との連携を図れるように制度を整備していきます。</p>						
成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
ホームページへのアクセス数(年間)【件】	287,870 対前年増減→	461,429 +173,559	274,794 -186,635					500,000

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.2

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	2 上牧町への新しい人の流れをつくる	担当課
基本的方向	2-2 若年層のUIターン促進と関心・認知度の向上	企画財政課
	少子高齢化の進行が加速する中、担い手不足による地域経済の衰退やコミュニティの場の消失が危惧されています。将来にわたる持続可能なまちづくりを見すえ、交通アクセスの改善等、上牧町の魅力・利便性向上に取り組むとともに、都市圏で高まりつつある地方移住の気運を取り込むため、SNSを積極的に活用し、上牧町への関心を高める企画や認知度の向上を図るプロモーション、イベント等の実施を通じて、担い手の確保に努めます。	
施策	② 関係人口・交流人口の創出	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容③ 移住支援金事業

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要（背景・目的）】 奈良県と連携し、県内企業などの人材不足の解消と町内への移住・定住を促進させるため、東京圏から移住し、県内での就業や起業をしようとする方に対し支援金を給付しています。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 1件申請があり給付しました。（申請区分：テレワーク、単身世帯：60万円） その他、広報6月号への掲載など周知活動を行いました。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、奈良県と連携し事業を進めていきます。</p>						
成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
移住支援金申請件数（年間）【件】	- 対前年増減→	-	1 +1.0					1

取組内容④ SNSを活用した情報発信と企画の実施

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 SNSを通して上牧町への関心を高める企画等の情報を発信することで、町の認知度向上及び魅力発信につなげていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 町制施行50周年記念事業の一環として、町の魅力発信とふるさと意識の醸成を目的に、町PRキャラクターの制作を行ったことで、イベント等へ参加する機会が増え、SNSでの情報発信を推進することができました。 また、他市町村のSNSに掲載いただく機会もあり、県内外問わず多くのかたに上牧町を知ってもらおう良いきっかけとなりました。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後は、秘書人事課と連携しながら、町PRキャラクターを活用したSNSでの情報発信を進め、町や町PRキャラクターの認知度向上に努めていきます。</p>						
成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
SNSの延べフォロワー数【人】	2,500 対前年増減→	4,271 +1,771.0	5,345 +1,074.0					5,500

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.3

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	担当課
基本的方向	3-1 地域資源を活用した魅力創出	総務課
	住宅地のまちとして発展を遂げてきたため、注目されることは少ないですが、地域内にも自然や文化財の魅力が点在します。地域資源の整備やブランディングに取り組むことで町外から人を呼び込み、地域活性につなげるとともに、町民のシビックプライドの醸成を図ります。また、近年では片岡城跡をはじめ、町民が主体となって地域資源の活用に取り組むなど、地域の気運も高まりを見せています。上牧町の地域特性やまちづくりの基本理念に基づき、協働のまちづくり、周辺自治体との連携を推進し、地域資源の活用による新たな魅力の創出にも取り組みます。	
施策	① 公共施設の相互利用	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 公共施設広域連携検討会の開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 他市町村と連携することにより、効率的な施設運営を実施するための協議を重ねていきます。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 広域連携検討会に6度参加し、他市町村と今後の方針を検討しました。また、施設の相互利用に関する協定を締結し、協定を締結した市町間で実証実験を行いました。取組を知った御所市からも広域連携協定に参加の意思を示していただいています。</p>	B	<p>【課題】 利用者側の課題としては、各対象施設での予約手続き方法があるためわかりづらいこと、e古都ならを使い始めるまでに手間がかかること等、利用前段階で踏み止まってしまうステップがあることが明らかになりました。 管理者側の課題としては、従来と異なった運用方法への対応やデータ収集のための事務作業の負担増、市町外利用者が増加した場合の市町民利用者との利用・予約調整等が挙げられます。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、広域連携の取組みを検討会を通じて進めていきます。上牧町での施設の利用実績等を鑑み、今後の上牧町としての方針を定め、事業の推進を図っていきます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
公共施設の満足度【%】	14.7 対前年増減→	-	-					35

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.3

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	担当課
基本的方向	3-1 地域資源を活用した魅力創出	社会教育課
	住宅地のまちとして発展を遂げてきたため、注目されることは少ないですが、地域内にも自然や文化財の魅力が点在します。地域資源の整備やブランディングに取り組むことで町外から人を呼び込み、地域活性につなげるとともに、町民のシビックプライドの醸成を図ります。また、近年では片岡城跡をはじめ、町民が主体となって地域資源の活用に取り組むなど、地域の気運も高まりを見せています。上牧町の地域特性やまちづくりの基本理念に基づき、協働のまちづくり、周辺自治体との連携を推進し、地域資源の活用による新たな魅力の創出にも取り組みます。	
施策	② 地域資源の整備	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容①

史跡上牧久渡古墳群を中心とした文化財の保存及び整備の推進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 平成27年10月7日に国指定された史跡上牧久渡古墳群の整備を推進していきます。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 史跡上牧久渡古墳群整備事業について、令和4年度は実施設計業務を実施し、許認可申請の提出を行いました。 当初の事業計画は仮設道造設工事の予定でしたが、実施設計業務の遅れにより、年次計画の見直しをする状況になりました。</p>	B	<p>【課題】 実施設計をもとに、整備工事を着実に進めていく必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】 文化庁や県担当課に指導を受けながら、庁内関係課と連携し整備事業を更に円滑に進めて行く方針です。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
史跡上牧久渡古墳群の整備【%】	40 対前年増減→	40	50					100
		±0	+10.0					

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.3

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	担当課
基本的方向	3-1 地域資源を活用した魅力創出	まちづくり推進課
	住宅地のまちとして発展を遂げてきたため、注目されることは少ないですが、地域内にも自然や文化財の魅力が点在します。地域資源の整備やブランディングに取り組むことで町外から人を呼び込み、地域活性につなげるとともに、町民のシビックプライドの醸成を図ります。また、近年では片岡城跡をはじめ、町民が主体となって地域資源の活用に取り組むなど、地域の気運も高まりを見せています。上牧町の地域特性やまちづくりの基本理念に基づき、協働のまちづくり、周辺自治体との連携を推進し、地域資源の活用による新たな魅力の創出にも取り組みます。	
施策	② 地域資源の整備	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① かんまき笹ゆり回廊を活用したにぎわい創出事業

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 かんまき笹ゆり回廊の整備を推進し、やすらぎと憩いのある緑地空間を整備するなど、良好な環境づくりに努めます。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 令和3年度に実施した滝川左岸の自転車優先道整備により、かんまき笹ゆり回廊の一部であり町内の主要な水辺・緑地としての滝川周辺をより安全かつ身近に利用いただけるようになりました。 かんまき笹ゆり回廊の主要な通りである滝川遊歩道沿いに、令和元年度に整備をしました芝桜について、開花時期に合わせてライトアップを行いました。 滝川遊歩道終点の下牧地区に、休息休養や待ち合わせ等に利用でき、災害時の防災拠点としても活用できる公園広場を整備しました。</p>	B	<p>【課題】 上牧町の歴史・文化・自然の魅力を感じられる事業を展開する必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】 笹ゆり回廊の整備完了に合わせて、かんまき笹ゆり回廊を活用したにぎわい創出事業のイベントを打ち出すとともに、既存の回廊のルートについて広く町内外に周知し、現地でもルートを確認できる案内表示等の設置についても検討します。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
かんまき笹ゆり回廊整備状況進捗率【%】	47.0	89.0	89.0					100
	対前年増減→	+42.0	±0					

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.3

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	担当課
	3-2 地域住民との協働によるまちづくりの推進	企画財政課
基本的方向	上牧町では2014年(平成26年)4月に「上牧町まちづくり基本条例」を制定し、よりよい地域社会の実現に向けて協働によるまちづくりを推進しています。町民と行政が互いに知恵と力を出し合うことで地域課題の解決と魅力の向上につなげます。	
施策	① 地域活動の支援・促進	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 町内の優れた技術・能力を有する人材の発掘及び活用の促進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 優れた技術・能力を有する人材の発掘を目的として実施している人材登録制度「上牧町まちづくり人財バンク」の取組を通じて、町民のまちづくりの参画機会の創出につなげていきます。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 広報による情報発信や町事業への参加をきっかけとして、新たに10人(行政経営分野：1人、教育分野：1人、まちづくり分野：1人、法律分野：1人、その他：7名)の登録がありました。(1人で複数分野の登録有)庁内開催の各種審議会での委員就任や、まきっ子塾学習アドバイザーとして活用されました。</p>	B	<p>【課題】 「上牧町まちづくり人財バンク」については、庁内での各種審議会等の委員就任の呼びかけ等の利用のみにとどまっているため、町民の方の生涯学習活動等に利用できるような制度の調査・研究が必要と考えます。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、町民の参画機会創出につなげるため募集を行います。募集案内については、広報だけでなくSNS等も積極的に使用し、登録者数・活用人数ともに増やせるように進めていきます。 また、将来的に町民の方の生涯学習活動等に利用してもらえるように、制度を整備していきたいと考えています。</p>						
成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
上牧町まちづくり人財バンク登録者の活用人数(年間)【人】	7 対前年増減→	6 -1.0	4 -2.0					20
上牧町まちづくり人財バンクの登録者数【人】	30 対前年増減→	30 ±0	40 +10.0					45

取組内容② 地域活動団体の設立及び活動支援

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 協働のまちづくりを推進するために、地域活動団体の公益的な取組に対して補助金を交付する「上牧町協働のまちづくり公募型補助金」(以下「公募型補助金」という。)の枠組みを活用し、地域活動団体の設立及び活動支援を行うことで、地域力の向上を図っていきます。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 既存の地域活動団体(2団体)に対して公募型補助金の交付を行いました。</p>	B	<p>【課題】 公募型補助金については、申請件数が少ないという現状を踏まえ、補助金をより活用してもらいやすくなるように補助金制度の見直しについても検討していく必要があると考えます。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も引き続き、公募型補助金の枠組みを活用し、地域活動団体の設立及び活動支援を行っていきます。 また、公募型補助金については、他市町村の事例について調査・研究を行いながら、制度の見直しについて検討を進めていきます。</p>						
成果指標(KPI)の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
新規地域活動団体年間設立数(累計)【団体】	- 対前年増減→	1 +1.0	2 +1.0					20

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.3

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	担当課
基本的方向	3-2 地域住民との協働によるまちづくりの推進	企画財政課
	上牧町では2014年（平成26年）4月に「上牧町まちづくり基本条例」を制定し、よりよい地域社会の実現に向けて協働によるまちづくりを推進しています。町民と行政が互いに知恵と力を出し合うことで地域課題の解決と魅力の向上につなげます。	
施策	① 地域活動の支援・促進	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容③ 上牧町協働のまちづくり公募型補助金事業の活用推進

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 町の活性化や地域団体の育成を図り、その継続的な活動を通して町民と行政との協働のまちづくりの推進を目的に、町民により組織される団体が行う公益的活動に対して、団体からの申請に応じて、補助金の交付を行います。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 4月募集で2団体からの申請があり、内1件は令和4年度の要綱の改正に基づく事前申請制度によるものでした。また、8月に追加募集を行いました。申請がありませんでした。 申請団体数については、令和3年度から減少しましたが、事前申請制度を設けたことで、早期の事業開始が活用促進に繋がったことから一定の成果は得られたと考えます。 〈申請事業（R04）〉 ●自由提案事業補助金 ①コロナ禍の災害対策ワークショップ（団体名：かんまき自主防災ネットワーク）【補助金交付額97,331円】 ②コキア大作戦（団体名：片岡城址盛り上げ隊）【補助金交付額118,867円】</p>	B	<p>【課題】 相談や問い合わせがあるものの本申請に至らないケースが多いことから、認知度は高まってきている一方で、多様化するニーズに対応できていない部分があると考えます。</p> <p>【今後の取組方針】 今後は、上牧町ボランティア連絡協議会を支援している上牧町社会福祉協議会にヒアリングを行う等してニーズの把握に努めるとともに、他市町村の事例を参考に、募集の枠組みの再構築を視野にいたした調査・研究を進めていきます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
	上牧町協働のまちづくり公募型補助金申請団体数（年間）【件】	3 対前年増減→	5 +2.0	2 -3.0				

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.3

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	担当課
基本的方向	3-2 地域住民との協働によるまちづくりの推進	社会教育課
	上牧町では2014年(平成26年)4月に「上牧町まちづくり基本条例」を制定し、よりよい地域社会の実現に向けて協働によるまちづくりを推進しています。町民と行政が互いに知恵と力を出し合うことで地域課題の解決と魅力の向上につなげます。	
施策	① 地域活動の支援・促進	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 歴史ガイドボランティアの養成

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要(背景・目的等)】 町民が歴史資産の価値や魅力を再認識し、郷土の誇りとして感じられるように、町民の共有財産として保全し、後世に受け継ぐとともに、魅力の発信に取り組みます。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 歴史ガイドボランティア養成講座や近隣市町村(河合町・広陵町等)のガイド見学を年9回実施しました。また、奈良県ウォーキング協会や近隣の老人保健施設や他市の高齢者向け生涯学習団体からの依頼で片岡城跡のガイドを行いました。 さらに、さくら祭りにて、ペガサスホールロビーでガイドによるブースを設け、史跡上牧久渡古墳群の案内や、画文帯環状乳神獣鏡のレプリカに触れるコーナー等を設営し、啓発活動を行いました。</p>	B	<p>【課題】 ガイドの活躍の場を継続的に作る必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】 今後は「ガイドボランティアの会」の立ち上げに向けて進めていきます。</p>

成果指標 (KPI) の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
歴史ガイドボランティアの養成人数 (目標年度終了時点)【人】	18 対前年増減→	17	16					30
		-1.0	-1.0					

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.3

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	担当課
	3-2 地域住民との協働によるまちづくりの推進	総務課
基本的方向	上牧町では2014年（平成26年）4月に「上牧町まちづくり基本条例」を制定し、よりよい地域社会の実現に向けて協働によるまちづくりを推進しています。町民と行政が互いに知恵と力を出し合うことで地域課題の解決と魅力の向上につながります。	
施策	② 防災・防犯活動の支援・促進	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 防災訓練の実施及び近隣自治体との広域連携

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 防災訓練の実施支援や近隣自治体との広域連携を行うことで町の防災力向上を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 かんまき自主防災ネットワーク主催の以下2件のワークショップにおいて講演および講座内容の指導等を行いました。 ・令和4年11月20日 コロナ感染症に配慮した一時救命処置ワークショップ ・令和5年2月26日 コロナ禍の災害対策ワークショップ</p>	B	<p>【課題】 近隣自治体との広域連携訓練について協議が必要と考えます。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も防災訓練の実施支援等を行い上牧町内の防災意識の向上を図っていきます。広域連携について、北葛城郡各町と協議を進めていきます。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
地域防災訓練の支援回数（年間）【回】	-	1	2					3
	対前年増減→	+1.0	+1.0					
広域防災訓練開催に向けた検討会議の開催数（年間）【回】	-	-	-					1
	対前年増減→							

取組内容② 子ども防災意識の向上

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 災害時において命を守る行動を行えるよう子どもの防災意識の向上を図ります。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 ・地震発生を想定して、県内一斉に1分間身を守る行動を行う奈良県いっせい地震行動訓練（ナラ・シェイクアウト）への参加（7月11日） 本庁、町立保育所・幼稚園・小中学校の参加 ・子どもを含む全来場者を対象とした心肺蘇生、AED体験（11月3日ペガサスフェスタ）</p>	A	<p>【今後の取組方針】 今後も子どもの防災意識の向上を図るためのイベントや教室の開催を行います。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
子ども防災意識の向上教室の開催数（年間）【回】	-	-	1					1
	対前年増減→		+1.0					

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.3

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	3 地域がつながり、魅力ある安全・安心なまちをつくる	担当課
	3-2 地域住民との協働によるまちづくりの推進	総務課
基本的方向	上牧町では2014年（平成26年）4月に「上牧町まちづくり基本条例」を制定し、よりよい地域社会の実現に向けて協働によるまちづくりを推進しています。町民と行政が互いに知恵と力を出し合うことで地域課題の解決と魅力の向上につなげます。	
施策	② 防災・防犯活動の支援・促進	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容③ 防犯活動の支援

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 防犯カメラの設置やパトロール等を行うことで町内の犯罪を未然に防ぐ役割を担います。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 以下のとおり実施しました。 ・町民・行政・西和警察署が一体となり犯罪から守るべく防犯パトロールの強化を実施しました。 ・防犯カメラについては、新たに6台設置を行い、合計36台の設置を完了しました。また、通学路合同点検を行い、上牧第二中学校梅ヶ丘側階段が危険箇所であると判断されたため令和5年度に防犯カメラの設置を計画しています。 ・交通安全協会上牧町分会、PTAや各地区の見守り隊による立哨を実施しました。</p>	B	<p>【課題】 防犯カメラについて、今後も学校再編による通学路の変更や服部台明星線の道路開通などの環境の変化に注視し、危険箇所について防犯カメラの設置検討を行う必要があると考えます。</p> <p>【今後の取組方針】 今後も青パトによる防犯パトロールや立哨活動による防犯体制の強化を図り、危険箇所について防犯カメラの設置検討を行っていきます。</p>						
成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
防犯カメラ設置台数【台】	24 対前年増減→	30 +6.0	36 +6.0					36

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.4

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	4 誰もが働きやすい環境をつくる	担当課
	4-1 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援	企画財政課
基本的方向	共働きを希望する子育て世代や再就職を望む元気な高齢者、子育てを終えて時間の余裕のある親世代等、様々なライフスタイルに対応した就労支援やサポート体制の充実に取り組むとともに、町内事業者とのマッチング支援を通じて、人材確保と雇用促進につなげます。	
施策	① ハローワークや町内事業者と連携した就職支援	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 就職準備セミナーの開催

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針																								
<p>【取組の概要(背景・目的)】 ハローワークと連携し、出産後に再就職を希望する女性等を対象にした就職準備セミナーの開催を行います。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 ハローワーク大和高田とラスパ西大和にあるママスクエアと共に育児期間中でおかつ求職中の人を対象に、「仕事と育児の両立支援セミナー(旧名：マザーズセミナー)」を開催し、2名(前年比-6名)の参加がありました。</p>	B	<p>【課題】 開催時期が例年3月になっており就職先が既に決まっている中での参加も多いことから、まだ就職先が決まっていない参加者を増やしていく取組が必要です。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き、ハローワークと連携を図りつつ新たな事業者ともセミナーを行いたいと検討しています。</p>																								
<p>成果指標(KPI)の状況</p> <table border="1"> <tr> <td>基準：R02</td> <td>R03</td> <td>R04</td> <td>R05</td> <td>R06</td> <td>R07</td> <td>R08</td> <td>目標：R08</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>8</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>対前年増減→</td> <td>-7.0</td> <td>-6.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08	15	8	2					30	対前年増減→	-7.0	-6.0							
基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08																			
15	8	2					30																			
対前年増減→	-7.0	-6.0																								
<p>就職支援セミナー等への参加者数(年間)【人】</p>																										

取組内容② 町内事業者とのマッチング支援

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針																								
<p>【取組の概要(背景・目的)】 ハローワークと連携し、町内事業者とのマッチング支援を行います。</p> <p>【実施内容・成果(R04)】 就職準備セミナー開催の際に、セミナー参加企業と直接話ができる機会を設け、求職者と企業を繋ぐマッチング支援を行いました。 その他、近隣自治体で開催されている同様のイベントの情報収集を行いました。</p>	B	<p>【課題】 マッチングイベント等における参加事業者数を増やしていく取組が必要であると考えます。</p> <p>【今後の取組方針】 引き続き、就職準備セミナーの開催の際に、セミナー参加企業と求職者を繋ぐマッチング支援のほか、新たなマッチング支援を行う機会を設けることを検討していきます。 また、同じような取組を行っている自治体の例などの情報収集を行い、より多くの事業所に参加してもらえる方法を検討します。</p>																								
<p>成果指標(KPI)の状況</p> <table border="1"> <tr> <td>基準：R02</td> <td>R03</td> <td>R04</td> <td>R05</td> <td>R06</td> <td>R07</td> <td>R08</td> <td>目標：R08</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>対前年増減→</td> <td></td> <td>+1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08	1	-	1					3	対前年増減→		+1.0							
基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08																			
1	-	1					3																			
対前年増減→		+1.0																								
<p>マッチングイベント等参加事業者数(年間)【事業者】</p>																										

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 4

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	4 誰もが働きやすい環境をつくる	担当課
	4-1 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援	こども未来課
基本的方向	共働きを希望する子育て世代や再就職を望む元気な高齢者、子育てを終えて時間の余裕のある親世代等、様々なライフスタイルに対応した就労支援やサポート体制の充実に取り組むとともに、町内事業者とのマッチング支援を通じて、人材確保と雇用促進につなげます。	
施策	② 子育てしながら安心して働ける環境の整備	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 子育てと就労の両立支援

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 安心して共働きできる環境の整備を目的に、子育てと就労の両立支援として、病児・病後児保育と放課後児童健全育成事業を実施しています。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 「ぞうさんのおうち」と「いちごルーム」の2カ所で実施しました。「いちごルーム」の案内チラシやポスターを作成し、保育所・学童保育所等に掲示し周知を図りました。また、年度ごとの更新が必要となり、利便性の改善につながりました。そして、社会的ニーズの拡大により、利用者の選択肢を広げるために近隣で新たな病児保育施設と契約を検討しました。 放課後児童健全育成事業として、就労形態の多様化に伴う保育需要に対応するため、町内の学童保育所において保護者が共働き家庭等により放課後や夏休み等の長期休業日に家庭で保育が受けられない児童を対象として、適切な遊びや生活の場を提供しました。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 登録者数においては認知度が少しずつ向上しつつあります。地域の特性上等の理由で登録者数は伸び悩んでいますが、共働き世帯の増加等により利用ニーズは増加すると予想されるため引き続き登録人数を増やし、仕事と子育ての両立の手助けができるよう周知します。 長時間保育の要望もあることから、開設時間の延長についても検討及び調整し、引き続き、安心して子育てができる環境・事業の充実を図ります。</p>						
成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
病児・病後児保育施設登録者数【人】	77 対前年増減→	84 +7.0	93 +9.0					120

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標.4

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	4 誰もが働きやすい環境をつくる	担当課
基本的方向	4-1 子育て世帯を中心としたあらゆる世代への就労支援	企画財政課
	共働きを希望する子育て世代や再就職を望む元気な高齢者、子育てを終えて時間の余裕のある親世代等、様々なライフスタイルに対応した就労支援やサポート体制の充実に取り組むとともに、町内事業者とのマッチング支援を通じて、人材確保と雇用促進につなげます。	
施策	② 子育てしながら安心して働ける環境の整備	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 子育てママ就業支援事業の実施

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 子育てをしながら柔軟に働くことができる環境を確保することが求められています。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 平成29年度から、「上牧町子育てママ就業支援事業」として、育児の都合に合わせた柔軟な働き方を実現できるようにするため、ラスバ西大和1F（上牧町ささゆりルーム）において、託児スペースとワーキングスペースを併設した就業支援スペース（事業拠点）を設置し、民間事業者との連携により運営を行っています。</p>	A	<p>【今後の取組方針】 事業拠点（上牧町ささゆりルーム1F）において、引き続き民間事業者との連携により託児スペースとワーキングスペースを併設した就業支援スペースにおけるテレワーク事業の運営を行っていきます。また、事業の継続展開に向け、補助金等の活用を検討し、子育てをしながら働くことのできる環境づくりを目指します。</p>

成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
子育てママ就業支援施設での延べ雇用者数（年間）【人】	26 対前年増減→	45 +19.0	46 +1.0					50
子育てママ就業支援施設稼働率（年間）【%】	54 対前年増減→	84 +29.7	79 -4.7					70

第2期上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

基本目標. 4

令和4年度事業

1. PLAN (計画)

基本目標	4 誰もが働きやすい環境をつくる	担当課
	4-2 新たな雇用創出の支援・促進	まちづくり推進課
基本的方向	地域資源を生かした商品開発を支援し、新たな魅力づくりを促進することで、地域産業の活性化を図るとともに、関係機関と連携しながら、販路の確保や事業者育成に取り組み、新たな仕事や雇用の創出を促進します。また、農業においても、生産性の向上や経営の安定化を支援し、農産物の高付加価値化を進めるとともに、多様な担い手の育成・確保を図ります。	
施策	① 地域産業の活性化と担い手の育成	

2. DO (実施結果) /CHECK (評価) /ACTION (今後の取組方針)

【評価：A…推進できている、B…推進しているが課題がある、C…推進できていない】

取組内容① 就農支援（担い手育成）と農産物の販路確保支援

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 新たに本町で就農されるかたへの支援策を模索するとともに、朝市等の新鮮農産物の産地直売体制を支援し、販路の確保や上牧町の農産物の認知度向上につなげます。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 就農支援については、農業委員会を通して各大字の若い世代の農業者に声かけを行い、1名の新規就農者を発掘しましたので、そのかたと共に県へヒアリングに行き、今後について協議を行いました。 産地直売体制への支援の面では、上牧ふれあい朝市会に対し、場所の提供、ポスター作成等の支援を行い2人の新規協力を確保しました。それにより朝市の会員数は合計19人となりました。また、上牧ふれあい朝市会の会員が作っている玉ねぎを、商工会が販売している「片岡の里 春ちゃん黒カレー」に使用させてもらい地産地消につなげました。</p>	B	<p>【課題】 農業者の声を直接聞き、本町における農業の今後を検討していく必要があると考えます。</p> <p>【今後の取組方針】 農業委員会による農業者向けアンケートを実施し、そのアンケートを基に農業施策を打ち出していきたいと考えます。また、新規就農者育成における空き家バンク制度との連携について、実施している市町村に聞き取り等を行い、実施に向けて検討していきます。</p>						
成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
新規就農者数（年間）【人】	- 対前年増減→	-	1					1 +1.0

取組内容② 地域資源を活用した商品開発と販路確保支援

実施内容・成果	評価	課題・今後の取組方針						
<p>【取組の概要（背景・目的等）】 町内外に上牧町の魅力をPRすべく、地域資源を活用した新たな特産品の開発を進めるとともに、地域農産物の町内消費促進を支援するため、商業施設や地域イベントでの販売等、場と機会の確保に努めます。</p> <p>【実施内容・成果（R04）】 農産物をはじめとする地域特産品をもっと広く周知してもらえるよう、上牧ふれあい朝市に対しペガサスフェスタへの販売場所提供や周知活動等、多面的に産地直売体制を支援していき、地産地消につなげました。 新たな地域特産品開発に関し、地元農業者、事業者及び商工会と協議を重ねましたが、開発には至りませんでした。</p>	B	<p>【課題】 農産物をはじめとする地域特産品をもっと広く周知してもらえるよう、地元農業者、事業者及び商工会と連携し事業を推進していく必要があります。</p> <p>【今後の取組方針】 上牧ふれあい朝市に対し、ペガサスフェスタへの販売場所提供や周知活動等、多面的に産地直売体制を支援していき、地産地消につなげます。 また、地元農業者、事業者及び商工会と協議を重ね、黒カレーに次ぐ第2、第3の新たな地域特産品を開発または開発支援をしていきます。</p>						
成果指標（KPI）の状況	基準：R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	目標：R08
新たな地域特産物（累計）【品目】	- 対前年増減→	-	-					2